

## 議 事 録

会議の名称	平成 30 年度第 1 回茨木市立文化財資料館運営審議会
開催日時	平成 30 年 5 月 23 日 (水) (午前・ <b>午後</b> ) 6 時 0 0 分 開会 (午前・ <b>午後</b> ) 7 時 1 5 分 閉会
開催場所	文化財資料館 2 階 研修室
出席者	委員長：難波 洋三 (奈良文化財研究所客員研究員) 副委員長：白井 亮吾 (茨木市小学校社会科研究部会副部長 (豊川小学校)) 委員：瀧端 真理子 (追手門学院大学心理学部教授) 岡市 正規 (茨木神社宮司) 辻尾 榮市 (地域歴史民俗考古研究所所長) 吉村 健 (大阪府立茨木高等学校指導教諭) 松岡 久美子 (近畿大学文芸学部准教授) 石井 美香 (茨木市立中条小学校校長) (敬称略) 【計 8 人】
欠席者	足立 久美子 (公益財団法人 堺都市政策研究所理事) 若林 邦彦 (同志社大学歴史資料館教授) (敬称略)
事務局職員	岡田 祐一 教育長、乾 克文 教育総務部長、乾 友範 歴史文化財課長、 前田 聡志 歴史文化財課長代理兼調査管理係長、 谷口 賢輔 保護啓発係長、前田 恵子 文化財資料館長、 清水 邦彦 学芸員、高橋 伸拓 学芸員、桑野 梓 学芸員、 藤田 徹也 発掘調査員 【計 10 人】
開催形態	<b>公開</b> / 非公開
議題 (案件)	(1) 平成 29 年度文化財資料館等事業報告について (2) 平成 30 年度文化財資料館等事業計画について
配布資料	平成 30 年度 第 1 回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	【開会】
教育長	【開会挨拶】
事務局	【会議の成立】 全委員 10 人中 8 人出席につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。
事務局	【委員の紹介】 平成 30 年 5 月 1 日付けで新たに委嘱された 10 名の委員の紹介。
事務局	【事務局の紹介】 平成 30 年 4 月 1 日付けの人事異動に伴う事務局職員の紹介。
	《案件 1 委員長・副委員長の選出》
事務局	【委員長及び副委員長の選出】 茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 3 条第 1 項「審議会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選とする」により、互選による選出を説明。
瀧端委員	委員長は、難波委員にお願いしたいと思います。  (異議なしの声)  —他委員の賛同を得て、委員長は難波洋三委員に決定—
辻尾委員	【副委員長の選出】  副委員長について白井委員にお願いしたいと思います。  (異議なしの声)  —他委員の賛同を得て、副委員長は白井亮吾委員に決定—
	【議事の進行の交代】

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	議事の進行を事務局から難波委員長に交代
難波委員長	<p>【就任挨拶・審議の公開について】</p> <p>審議会及び会議録の公開・非公開について諮りたいと思います。公開についての説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開の旨を説明。資料の閲覧、持ち帰りも審議会の判断で可能であること、会議録についても公表に努めている旨を説明。</p>
難波委員長	<p>審議会については原則に則り公開とし、非公開とすべき案件が発生したときは皆様にお諮りし、非公開を決定します。会議録についても公開とし、資料についても傍聴者への閲覧及び持ち帰りを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
難波委員長	<p>本審議会は公開とし、資料の閲覧及び持ち帰りも許可することといたします。傍聴人がいらっしゃるか確認してください。</p>
事務局	<p>1 人います。</p> <p>(傍聴人入場)</p>
	<p>《案件 2 平成 29 年度文化財資料館等事業報告について》</p>
難波委員長	<p>では次第に従い、報告事項の「平成 29 年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成 29 年度文化財資料館等事業報告資料をもとに説明。</p>
難波委員長	<p>非常に多くの事業をされている。私の感想を先に言うと、入館者数は横ばい状態だが、逆に言うとこれは非常に大変なことである。私も博物館で勤務した経験があるのでわかるが、だいたいは減っていく。これが普通だが、比較的小規模なこの資料館で持続して 13,000 人の入館者数があるということは、企画のレベルが高いからだと感じる。その一方で、普及啓発活動もきめ細やかにおこなっている。これらの成果だと思う。おそらくやら</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>れている学芸員の方は大変だろうが、努力が見える内容だと思う。</p> <p>とくに、去年は私も講演会をやらせていただいたが、第34回テーマ展「銅鐸をつくった人々」は内容的にも非常にレベルが高いものだった。研究者の方にも非常に注目度の高い展示で、図録も研究者の方は重要視して購入したと思う。事務局の方で、何か説明していただくことはありますか。</p> <p>10月下旬に2週連続週末に台風が直撃したことにより、他館同様、当館も苦戦した。また、毎年12月初旬に天王中学校区のポイントハイキングで500人程度の来館者があるが、今回は期間を前倒ししたことにより、展示期間中の入館者には入っていない。これらの点を勘案すれば、例年よりも多くの方々に展示を見ていただいたと考えている。</p> <p>アンケートを見ると、例年のテーマ展と比べ、大阪府外からの来館者が多いのが特徴で、アンケート回答者のおよそ1/3を占めている。これは滋賀県立安土城考古博物館、兵庫県立考古博物館との3館連携による効果と考えており、1館だけではなく、3館で同じテーマの展示を見ることができるということで、近畿外の遠方からの来館者が多かったと思われる。</p> <p>また、今回の展示は青銅器の鑄造に用いる送風管から工人集団像に迫るという比較的学術色が強い内容であったが、アンケート結果は「工人の姿がこれまで以上に鮮明になってきてとても面白かった」等、非常に好評であった。</p>
難波委員長	<p>茨木市の文化財というと、東奈良遺跡の銅鐸関係の資料が一番全国的にも有名。ある意味、この文化財資料館のアイデンティティになっている。博物館はどこでも小学生や皆さんに利用してもらわなければいけないという側面があり、それは大事なことではあるが、もう一方では地元の文化財を全国へ高いレベルの情報で発信していくということが極めて重要。高いレベルの情報発信がなく、普及啓発活動だけになると、テーマパークみたいになってしまい、これは問題である。そうではなく、この2本だてを上手に使い分けて、運営していくことが大事だと思う。</p>
瀧端委員	<p>素晴らしい活動をされていて、突っ込みどころがないぐらいですが、最後のところに記載されている寺社の調査での課題について教えてください。</p>
事務局	<p>従来、悉皆調査がおこなわれていなかった。そのため、寺社の建造物の評価を所有者や地元の方が知らない。調査終了後、報告書の刊行を予定しており、建造物が文化財として価値があることを知ってもらいたいと考え</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
難波委員長	<p>ている。また、建造物の他にも、仏教彫刻等の調査も併せておこなっているが、これらの保存、管理をどうしていくのかは課題だと考えている。</p> <p>悉皆調査は基礎的な仕事で重要。お寺さんでも文化財の価値を知らず、扱いがぞんざいになったりすることもある。このような調査を継続的におこなっていくことは大事なこと。松岡委員、この点はいかがですか。</p>
松岡委員	<p>事務局の説明にあったように、まずは地元の方に意識を高めていただくためにも継続的に資料館の方から働きかけていく必要があると感じた。最初は警戒されることもある。例えば、防犯のため写真付き台帳を作成するなど、皆が目指せる目標をうまく設定する。他では、盗まれてしまったが手配をかけたくても情報がないことがあるので、将来のこともだが今すぐのメリットを提示して、協力いただけるところからやっていく。このような活動は一時で終わらせるのではなく、継続してやっていくことが重要。</p>
難波委員長	<p>近年、無住の寺等での盗難事件が非常に多い。そのため、台帳作りは重要となってくる。あとは防災関係の面。これから南海地震等がいつかはやってくる。国でも防災ネットワークづくりの話がでていいる。そのなかでも、文化財の台帳をまずは作らないといけない。</p> <p>京都国立博物館でも、ずっと京都の寺を悉皆調査している。京都の寺だと調査は概ね終わっていると思われるかもしれないが、お寺側がなかなか見せてくれないこともある。継続的に調査をおこなうことで信頼関係を築けると、以前見せてくれなかったものを見せてくれ、非常に重要な発見につながることもある。また、資料館での公開ができることもある。</p> <p>岡市委員は対象の側になると思うが、なにかご意見ありますか。</p>
岡市委員	<p>茨木市の場合、市史編さん室が何回も来られ、しっかりと調査していた。課に昇格して、体制が整いつつある。市史はあくまで市史なので、課としても頑張ってもらいたい。</p> <p>昨年度実施されたヒアゲの調査経過報告を聞きたい。また、外部講演会の性格について教えてほしい。そのなかで独活の講演をされているが、これについても教えてください。</p>
事務局	<p>ヒアゲの調査は民俗学が専門の文化財調査専門員が担当した。その概要については、お手元の館報第3号の調査研究報告に掲載しており、奈良の春日神社、佐奈部神社、下穂積の春日神社の計3ヶ所のヒアゲについて調査報告をしている。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
白井委員	<p>外部講演会は基本的に、他機関からの依頼を受けて、各専門の職員がそれぞれの分野に応じて発信している。独活の栽培が衰退するなか、千提寺で独活を栽培されている方がいるので、その方取材するかたちで調査をおこなった。その調査成果について話をしてほしいという依頼を受けて、川西市で文化財調査専門員が講演をおこなった。</p> <p>小学校3年生の団体見学は13校から16校へ増加し、出前講座も含めると24校あり、小学校3年生については定着してきた感がある。昔の道具に触れる機会が減るなか、文化財資料館の存在は大きい。資料館に来るのが難しい山間部等の学校へ対しても、出前講座での対応を配慮していただき、とてもありがたい。一方、4月の校長会で告知していただいたが、小学校6年生の利用はまだ少ない。豊川小学校では出前講座を活用したが、子どもたちの反応が非常に良く、教科書に載っていることが茨木市にもあるということを経で保護者に伝え、保護者からも良かったという言葉がいただいた。ただ、この出前講座の魅力が他の学校に伝わっていないのが現状だと思う。他の小学校6年生にも活用してもらいたい。4月という年度初めの難しさもある。</p> <p>もう一点だが、ベテランの先生でも文化財資料館に行ったことがない教員がいる。初任者研修での活用があるが、自然と教員が資料館へ向くような取り組みをしてほしい。</p>
難波委員長	<p>小学生ぐらいの好奇心が強い時期に、写真ではなく現物を見るということの魅力はすごいと思う。</p>
岡市委員	<p>現物を見せることは資料館としての意義がある。春日小学校に農機具があった。佐奈部神社の農業資料館にもある。しかし、見る人がいない。活かすことを考える必要がある。</p> <p>出前講座の件だが、学校教育の現場にも努力をしてもらいたい。学校の年間スケジュールは4～5月に決まるので、社会科部会でも文化財資料館を活かしてもらえよう計画的に広報してほしい。文化財資料館でもそれに対応できる体制をととのえればよいのではないかと。</p>
難波委員長	<p>確かに、今仰られたような事業も大切でやっていく必要はあるが、このような事業は右肩あがりに増えてくる。他館の審議会でも同様の発言をするが、これをやった方がよい、あれもやった方がよいとなるが、一方でやめることが非常に難しい。勇気を持って、効率等をみながら考え、削るところは削って重点を変えていく必要がある。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>もう一つ、こちらの館が非常に頑張っていると感じるのは、館報が非常に充実している。事務的なものばかりで面白くないものも多いなか、こちらの館では学芸員の方が地元の知られていない資料の紹介や研究成果も含めて報告しており、大変充実したものになっている。多くの業務があるなかで大変だと思うが、この仕事をぜひ地道に続けて実績を積み上げていてもらいたい。今は3号だが、これが10号、20号となると、また非常に充実したものになる。埋蔵文化財の未報告資料も掲載していけばよい。</p> <p>《案件3 平成30年度文化財資料館等事業計画について》</p>
難波委員長	<p>引きつづきまして、報告事項の「平成30年度文化財資料館等事業計画について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>平成30年度文化財資料館事業計画資料をもとに説明。</b></p>
難波委員長	<p>ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願いいたします。</p>
難波委員長	<p>いばらき×立命館 DAY はどこでされたのでしょうか。</p>
事務局	<p>立命館大学大阪いばらきキャンパスです。</p>
岡市委員	<p>市制施行70周年だが、それを冠した事業があるのか。また、高槻市との連携について教えてほしい。</p>
事務局	<p>文化財資料館でおこなうテーマ展である「総持寺展」を周年事業として位置づけている。また、茨木市と高槻市は同じ三島地域にあり、歴史的なつながりも深いことから、連携について話を進めている。高槻市では当館のテーマ展と同時期に、藤原鎌足や阿武山古墳をテーマとした展示を行う予定であり、茨木市の安威地域をとりあげることもあり、連携を図っている。</p>
瀧端委員	<p>資料収集事業の箇所「収蔵庫の容量を鑑み」とあるが、何か困ったことはあるのか。</p>
事務局	<p>文化財資料館は開館して以降30年を超えており、収蔵庫はいっぱいになっている。そのため、民具や埋蔵文化財等の収蔵資料を中心に、整理作業</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
難波委員長	を進めている。  民俗資料はいつとき多く出てきて、どこでも対応が大変だった時期があると思うが、現在はある程度落ち着いた状況なのか。
事務局	年々減少していると感じている。以前は、家を取り壊す際に連絡をいただく場合が多かった。
吉村委員	茨木高校では高校2年生の日本史選択の生徒が毎年12月にお世話になっている。そのなかで、普段公開していないバックヤードの見学も実施していただいている。7～8年前は溢れんばかりの資料が並んでいて、見学する側にとっても博物館には収蔵という重要な役割もあり、展示室に並ぶのはほんの一部であるということを生徒に実感してもらおうという意味でも威力があった。遺物について市の北部で収蔵するという方針に今後も変更はないのか。
事務局	埋蔵文化財の遺物については、東奈良遺跡の出土資料等、膨大な量があるので、まずは一元管理を進めている。そのため、山間部の廃校となった建物を収蔵庫として、そこに集めている。台帳作成も進めており、その後、展示や出前講座等の活用を考えている。一部の優品については、文化財資料館で保管している。
難波委員長	東奈良遺跡の資料は現在の目でみると、新発見も色々あると思う。全体として眺めて、理解することも大切。色々業務があるなか大変だと思うが、東奈良遺跡の出土遺物を検討していただければ、また面白いことがわかるのではないかと思う。期待している。
吉村委員	さきほど白井委員が中学校教員でも資料館に来たことがないというご発言があったが、高校教員も同じで資料館に来たことがない人がいる。大阪府高等学校社会科研究会では、昨年10月に教員対象のバックヤードツアーを計画し、府立高校6校、定時制も入れて8課程へ重点的に、テストの日程を確認して参加しやすい日程を組んで広報したのにも関わらず、10人前後の参加者数で、茨木の先生は定時制の先生が1人、しかも直前に知り飛び入り参加だった。若い先生はいったいどこで何をしているのだろうと、私の力不足だが。
難波委員長	先ほど私が話したことと関連するが、現物がもつリアリティ、迫力はす



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>ごい。今は加工した情報が溢れている時代なので、それだけに接しているとどうなるのかなと思う。おそらく先生もそんな感じかもしれない。</p> <p>私自身も通った学校の校庭が弥生時代の遺跡で、工事で掘り返していた時に土器が出ていて、先生にもっていったらこんな植木鉢やと言われたことがある。教科書では知っているが、身近に土器があるということに思い至らない。学生もそうだが、先生にもやはり現物について知ってもらいたい。こういう点でも資料館の存在は重要で、資料館の利用頻度が高くなればよいと思う。</p>
松岡委員	<p>予算について資料や館報で触れられていない。どの事業にどの程度の予算を使うのかは文化財資料館の運営に関わる方針や態度に関わるころだと思う。</p>
事務局	<p>事業の裏づけとして予算がどうなっているかは重要であるため、来年度の資料作成の際には、資料に大まかな予算規模をいれることを検討していきたい。</p>
石井委員	<p>小学校でも若い先生は知らないことが多い。そのため、教員の初任者研修に資料館を入れていることは良いことだと思う。出前講座も良い取り組みなので、資料館でできることを周知して、学校側に定例化を図ってもらえるようにしてほしい。大人向けの企画に加え、子ども向けの企画も考えていただいているので、進めていってほしい。</p>
事務局	<p>若い先生が増えてきたので、資料館に足を運んでもらえるようにしていきたい。宣伝、広報を早く行い、少しでも多くの子どもたちに来館してもらいたい。昨年度は夏休みにクイズや勉強コーナーを設けて、学芸員が教えるということも試験的におこなった。今年度も夏休みに子どもたちが来てもらえる企画を考えていきたい。</p>
難波委員長	<p>現在の展示で現物に触れることができるものはあるのか。</p>
事務局	<p>1階ロビーに、触ることができる資料として、弥生土器と土師器を置いている。他にも、東奈良遺跡の第1号銅鐸鑄型をモデルとした復元銅鐸、銅鐸鑄型のレプリカを置き、触れることができる展示コーナーを設けている。</p>
難波委員長	<p>2000年前のものを実際に触れることは子どもには魅力だと思う。教員の</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
難波委員長	<p>方にもしていただければ、印象が変わるのではないか。</p> <p>他にご意見はあるでしょうか。ないようでしたら、次年度の事業計画につきましては、事務局提案のとおり進めていただき、次年度の審議会で報告を受け、審議するということよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
難波委員長	<p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。いろいろなご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして、平成 30 年度第 1 回茨木市立文化財資料館運営審議会を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>